

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値	H25年度の実績値	達成率%	今後の取組
体系的なキャリア教育の推進						
1 義務教育課	【夢や目標を持っている状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 89.5 %	84.8	より多くの教員が資料を活用できるよう、県ホームページに「小・中学校キャリア教育研究協議会」の資料を掲載するとともに、ホームページを活用するように呼びかけ、各学校への周知を徹底する。 研究協議会において、職場体験日数の多い学校の事例を取り上げ、生徒の職業観の育成の効果について協議することで、職場体験の大切さを理解してもらい、各学校の職場体験活動日数の増加を図る。
2		中 73.0 %	中 80 %	中 77.3 %	61.4	
3 高校教育課	【インターシップの実施状況】 ・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 80 %	100.0	進路指導主事会などの場を通じて、各校に実施校のノウハウを未実施の高校に情報提供していくことにより、就業体験の実施に向けた支援を行い、生徒が職業について考える機会拡大につなげていく。
4 高校教育課	【企業実習への参加状況】 ・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 927 人	518.0	工業高校においては、ほぼ全員が企業等で実習の体験ができるようになった。今後は、地域産業担い手委員会などの学校と企業が話し合う場において、生徒のニーズと企業のニーズを議題とし、双方のニーズを互いに理解したうえで、より質の高い実習体験となるよう、学校と協力企業との連携を支援していく。
5 高校教育課	【技術研修への参加状況】 ・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180	高 129 人	-183.3	生徒の企業実習受け入れ先の企業に対して、教員の企業等の研修の実施時期と生徒の企業実習の時期が重ならないよう協力を要請していく。 企業等の実施する研修会だけにとらわれず、「新産業技術等職業高校教員研修」をはじめ、大学・短大・専門学校などが実施する研修会や、各部会が独自に実施する研修会や勉強会等も含め、企業等の求める技術を習得するための様々な機会への参加を、各専門学科の部会や指導主事の学校訪問時などあらゆる機会を捉え、各教員に対して推奨していく。